

世界の紛争地で水と衛生支援

REALS



瀬谷氏

■南スーダンで支援活動

面を押し出すことで、支援の必要性をより理解してもらえやすくなる」ともに、敵対していた両者を結びつけて平和共存の道に導けるのでは」と瀬谷氏は強調する。

「政府系の大型プロジェクトでは、上下水道の整備など地域に広く利益をもたらす事業に取り組める一方、トイレや井戸といった、末端部分の設備のメンテナンスなどについては、若干弱い面がある。我々は、個々の実情に合わせて、そうした弱いところを補うことができる」と、REALSの支援の特長を語る。

水と衛生の支援は待ったなし

「政府系の大型プロジェクトでは、上下水道の整備など地域に広く利益をもたらす事業に取り組める一方、トイレや井戸といった、末端部分の設備のメンテナンスなどについては、若干弱い面がある。我々は、個々の実情に合わせて、そうした弱いところを補うことができる」と、REALSの支援の特長を語る。

「政府系の大型プロジェクトでは、上下水道の整備など地域に広く利益をもたらす事業に取り組める一方、トイレや井戸といった、末端部分の設備のメンテナンスなどについては、若干弱い面がある。我々は、個々の実情に合わせて、そうした弱いところを補うことができる」と、REALSの支援の特長を語る。

「政府系の大型プロジェクトでは、上下水道の整備など地域に広く利益をもたらす事業に取り組める一方、トイレや井戸といった、末端部分の設備のメンテナンスなどについては、若干弱い面がある。我々は、個々の実情に合わせて、そうした弱いところを補うことができる」と、REALSの支援の特長を語る。

「政府系の大型プロジェクトでは、上下水道の整備など地域に広く利益をもたらす事業に取り組める一方、トイレや井戸といった、末端部分の設備のメンテナンスなどについては、若干弱い面がある。我々は、個々の実情に合わせて、そうした弱いところを補うことができる」と、REALSの支援の特長を語る。

「政府系の大型プロジェクトでは、上下水道の整備など地域に広く利益をもたらす事業に取り組める一方、トイレや井戸といった、末端部分の設備のメンテナンスなどについては、若干弱い面がある。我々は、個々の実情に合わせて、そうした弱いところを補うことができる」と、REALSの支援の特長を語る。

「政府系の大型プロジェクトでは、上下水道の整備など地域に広く利益をもたらす事業に取り組める一方、トイレや井戸といった、末端部分の設備のメンテナンスなどについては、若干弱い面がある。我々は、個々の実情に合わせて、そうした弱いところを補うことができる」と、REALSの支援の特長を語る。

「政府系の大型プロジェクトでは、上下水道の整備など地域に広く利益をもたらす事業に取り組める一方、トイレや井戸といった、末端部分の設備のメンテナンスなどについては、若干弱い面がある。我々は、個々の実情に合わせて、そうした弱いところを補うことができる」と、REALSの支援の特長を語る。

「政府系の大型プロジェクトでは、上下水道の整備など地域に広く利益をもたらす事業に取り組める一方、トイレや井戸といった、末端部分の設備のメンテナンスなどについては、若干弱い面がある。我々は、個々の実情に合わせて、そうした弱いところを補うことができる」と、REALSの支援の特長を語る。

「政府系の大型プロジェクトでは、上下水道の整備など地域に広く利益をもたらす事業に取り組める一方、トイレや井戸といった、末端部分の設備のメンテナンスなどについては、若干弱い面がある。我々は、個々の実情に合わせて、そうした弱いところを補うことができる」と、REALSの支援の特長を語る。

「政府系の大型プロジェクトでは、上下水道の整備など地域に広く利益をもたらす事業に取り組める一方、トイレや井戸といった、末端部分の設備のメンテナンスなどについては、若干弱い面がある。我々は、個々の実情に合わせて、そうした弱いところを補うことができる」と、REALSの支援の特長を語る。

「政府系の大型プロジェクトでは、上下水道の整備など地域に広く利益をもたらす事業に取り組める一方、トイレや井戸といった、末端部分の設備のメンテナンスなどについては、若干弱い面がある。我々は、個々の実情に合わせて、そうした弱いところを補うことができる」と、REALSの支援の特長を語る。

「政府系の大型プロジェクトでは、上下水道の整備など地域に広く利益をもたらす事業に取り組める一方、トイレや井戸といった、末端部分の設備のメンテナンスなどについては、若干弱い面がある。我々は、個々の実情に合わせて、そうした弱いところを補うことができる」と、REALSの支援の特長を語る。

「政府系の大型プロジェクトでは、上下水道の整備など地域に広く利益をもたらす事業に取り組める一方、トイレや井戸といった、末端部分の設備のメンテナンスなどについては、若干弱い面がある。我々は、個々の実情に合わせて、そうした弱いところを補うことができる」と、REALSの支援の特長を語る。

「政府系の大型プロジェクトでは、上下水道の整備など地域に広く利益をもたらす事業に取り組める一方、トイレや井戸といった、末端部分の設備のメンテナンスなどについては、若干弱い面がある。我々は、個々の実情に合わせて、そうした弱いところを補うことができる」と、REALSの支援の特長を語る。

「政府系の大型プロジェクトでは、上下水道の整備など地域に広く利益をもたらす事業に取り組める一方、トイレや井戸といった、末端部分の設備のメンテナンスなどについては、若干弱い面がある。我々は、個々の実情に合わせて、そうした弱いところを補うことができる」と、REALSの支援の特長を語る。

紛争地では、水を手で汲み取ったり、不衛生な水を飲まざるを得なかったりして、多くの人が命を落としていることから、水と衛生の支援ニーズが非常に高い状況だ。紛争地において水と衛生支援などの活動を実施している認定NPO法人REALS（リアルズ、Reach Alternatives、旧日本紛争予防センター）理事長で、国連PKOなど海外での支援活動に従事してきた瀬谷ルミ子氏に、南スーダンの国内避難民キャンプでの取り組みを中心に話を聞いた。



昨年度の活動で設置したタンク型手洗い設備（REALS提供）

「多くの住民が、清潔な水場が存在しないことにより、生活排水や糞尿が流れ込んだ地表水の利用を余儀なくさ

ず、トイレも昨年末の時点で1基も使用できなかった。蛇口を備えたタンク型手洗い設備2基を新設したほか、シャワールーム4室を修復・改良もした。今年度は、故障している井戸の修繕に向けた現地調査に着手するほか、トイレのさらなる設置、昨年度設置したトイレのセブティックタンク

を受け、昨年度の緊急支援活動では、トイレ8基を整備し、うち1基は入口の段差を無くすなど障がい者用にバリアフリー化。蛇口を備えたタンク型手洗い設備2基を新設したほか、シャワールーム4室を修復・改良もした。今年度は、故障している井戸の修繕に向けた現地調査に着手するほか、トイレのさらなる設置、昨年度設置したトイレのセブティックタンク

の増量などを行う。さらに、今回の支援活動では、紛争予防や自立というREALSが持つ強みを十分に発揮していく考えだ。支援開始前には、各部落や住民グループから、長老や若者、女性といった避難民キャンプの各層のメンバーからバランスよく選出され、自治管理組織に対し、トータル解決手法などをレクチャーした。

「限られた設備をめぐる住民間の衝突を防ぐことに細心の注意を払った。トイレや井戸などを住民自身の手で管理できるように、様々な研修メニューを今後も提供していく」と瀬谷氏は話す。今年度は、避難民キャンプにおいて井戸管理委員会を組織した上で、水インフラの整備の進捗に合わせ、メンテナンス研修や紛争予防研修などを実施し、コミュニティ内で維持管理業務の公平な分担や、均等なウハウワの保有を進めていく予定だという。

「限られた設備をめぐる住民間の衝突を防ぐことに細心の注意を払った。トイレや井戸などを住民自身の手で管理できるように、様々な研修メニューを今後も提供していく」と瀬谷氏は話す。今年度は、避難民キャンプにおいて井戸管理委員会を組織した上で、水インフラの整備の進捗に合わせ、メンテナンス研修や紛争予防研修などを実施し、コミュニティ内で維持管理業務の公平な分担や、均等なウハウワの保有を進めていく予定だという。

「限られた設備をめぐる住民間の衝突を防ぐことに細心の注意を払った。トイレや井戸などを住民自身の手で管理できるように、様々な研修メニューを今後も提供していく」と瀬谷氏は話す。今年度は、避難民キャンプにおいて井戸管理委員会を組織した上で、水インフラの整備の進捗に合わせ、メンテナンス研修や紛争予防研修などを実施し、コミュニティ内で維持管理業務の公平な分担や、均等なウハウワの保有を進めていく予定だという。

「限られた設備をめぐる住民間の衝突を防ぐことに細心の注意を払った。トイレや井戸などを住民自身の手で管理できるように、様々な研修メニューを今後も提供していく」と瀬谷氏は話す。今年度は、避難民キャンプにおいて井戸管理委員会を組織した上で、水インフラの整備の進捗に合わせ、メンテナンス研修や紛争予防研修などを実施し、コミュニティ内で維持管理業務の公平な分担や、均等なウハウワの保有を進めていく予定だという。

「限られた設備をめぐる住民間の衝突を防ぐことに細心の注意を払った。トイレや井戸などを住民自身の手で管理できるように、様々な研修メニューを今後も提供していく」と瀬谷氏は話す。今年度は、避難民キャンプにおいて井戸管理委員会を組織した上で、水インフラの整備の進捗に合わせ、メンテナンス研修や紛争予防研修などを実施し、コミュニティ内で維持管理業務の公平な分担や、均等なウハウワの保有を進めていく予定だという。